

研究名： 胃以遠に位置するボタン型電池誤飲におけるマニュアル導入前後での診療の変化

1．研究の目的

胃以遠に位置するボタン型電池誤飲の患者さんにおける、マニュアル導入前後での診療の変化を検討します。

.....

2．研究の方法

研究対象：2008年1月から2019年12月に当院救急外来を受診し、単純X線検査でボタン型電池が胃以遠に位置した18歳以下の方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2020年7月31日

研究方法：2008年1月から2019年12月に当院救急外来を受診し、単純X線検査でボタン型電池が胃以遠に位置した18歳以下の症例を対象に、電子診療録を用いた後方視的研究を行いました。マニュアル導入前後の2群に分類し、月齢、性別、電池の位置・径・個数、胃内の電池の摘出術施行率、小児外科医への相談率、電池の消化管内の停滞に伴う合併症や摘出に伴う合併症の頻度について比較検討しました。

3．研究に用いる情報の種類

月齢、性別、電池の位置・径・個数、胃内の電池の摘出術施行率、小児外科医への相談率、電池の消化管内の停滞に伴う合併症や摘出に伴う合併症の頻度 等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、6月30日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 救急診療科 富田 慶一

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7977）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 救急診療科 富田 慶一